

目指す人物像:幅広い教養と深い専門知識・技術を修得し、「自立と共生」に重きを置き働くことのできる人物

※ 各種教育免許状等の取得を目指すなかで、大学4年間の学びを通して自らの適性を考え、自らの力を発揮し、社会のために貢献する力を発揮できる進路選択を行う。

卒業後の姿…幼稚園教諭、保育士、小学校教諭、中学校・高等学校教諭(音楽)、特別支援学校教諭、養護教諭、社会教育主事、公務員(道職員・市町村職員)、演奏家、一般企業就職 etc.

社会人として必要な基礎力

教育者として必要な力

発信する力

応用する力

知識・技能の拡充

学びの基本スキル

主体的に自らの専門性を高める学びを展開し、その学びの成果を社会で生かす能力を身に付ける。

キャリア演習Ⅲ・Ⅳ

調査、発表、討論、考察などの研究スキルを高めるとともに、専門的な学びを深める。

インターンシップ

キャリア演習Ⅰ・Ⅱ

就業力特別講義Ⅱ

情報処理(上級)

コース毎の専門的な学びを広げ、自らの進路に向けた知識・技能を高める。

インターンシップ

キャリアデザインⅢ

就業力特別講義Ⅰ

情報社会及び情報倫理

情報処理(中級)

外国語科目
英語、韓国語、中国語、ドイツ語、フランス語、スペイン語

学び方の基礎・基本・教養を身につけ、自ら学びに向かう姿勢をもてるようになる。

キャリアデザインⅠ・Ⅱ

情報機器操作Ⅰ・Ⅱ

英語コミュニケーションⅡ

英語コミュニケーションⅠ

日本語表現・数学入門

教養科目
現代生活と〇〇
政治経済
法律
福祉
芸術
教育
心と体
物理
地球
環境科学

発展科目
● ● ●
文化と芸術に関する科目群
心身健康に関する科目群
社会と生活に関する科目群

学部共通科目
リカレント教育論
青少年学習コーチング論
生涯学習概論Ⅰ
カウンセリング心理学

生涯学習概論Ⅱ
カウンセリング心理学

教育文化学
芸術と心理学
メディアデザイン概論

各教科の指導実践に関する演習科目
〇〇指導・実践演習
国語科
算数科
理科
社会科
生活科
音楽科
図画工作科
家庭科
体育科
各教科の指導法に関する講義科目
〇〇指導法
国語科
算数科
理科
社会科
生活科
音楽科
図画工作科
家庭科
体育科
英語科
教科に関する概論科目
〇〇概論
国語科
算数科
理科
社会科
生活科
音楽科
造形美術
家庭科
体育科
英語科

小学校教育研究Ⅲ
小学校教育研究Ⅱ
幼児教育研究Ⅱ
教育実習事後指導
教育実習
教育方法論
教育相談論(カウンセリング含む)
小学校教育研究Ⅰ
幼児教育研究Ⅰ
こども理解
教育実習事前指導
教育経営学
教育課程論
特別的教育的ニーズ論
道德教育論
特別活動及び総合的な学習の時間の指導法(小)
生徒指導論
保育原理

保育実践演習
保育実習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ
保育実習指導Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ
保育士資格必修科目
保育の本質・目的に関する科目
保育の対象・理解に関する科目
保育の内容・方法に関する科目
保育内容の指導法
保育内容総論
保育内容分科論
保育内容(健康)(人間関係)(環境)(言葉)(表現)
領域に関する概論科目
健康人間関係環境表現

養護に関する科目
健康相談活動の理論・健康相談活動の方法
養護概説
学校保健
衛生学及び公衆衛生学
養護学
解剖学・生理学
微生物学・免疫学・薬理概論
看護学
精神保健
看護学

養護教諭教育研究Ⅱ・Ⅲ
養護教諭教育研究Ⅰ
養護実習事後指導
養護実習
教育方法論
教育相談論(カウンセリングを含む)
教育課程論
養護実習事前指導
教育経営学
特別的教育的ニーズ論
特別活動及び総合的な学習の時間の指導法
道德教育論
生徒指導論

教育実習事後指導
教育実習Ⅰ・Ⅱ
教育実習事前指導
音楽企画実践演習
音楽教育研究
音楽科教育法Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ
音楽フィールド演習
教科に関する科目
ソルフェージュ・コンピュータミージック
音楽概論・作曲法・音楽史・指揮法

特別支援教育実習事後指導
特別支援教育実習事前指導
特別支援教育実習
導法又は生徒の教育課程及び指導法
心身に障害のある幼児、児童
〇〇教育
知的障害
肢体不自由
病弱
〇〇の教育課程及び指導法
発達障害者等重複障害者
視覚・聴覚障害者
心身に障害のある幼児、児童
又は生徒の心理・生理及び病理に関する科目
特別支援教育の実践に関する演習科目
特別支援教育の基礎理論に関する科目
特別支援教育総論

初等教育コース

幼児教育コース

養護教諭コース

音楽コース

基礎教育セミナーⅠ・Ⅱ